

中国語 学習指導案

1. 日時 平成 27 年 12 月 7 日（月）第 5・6 時限（13：30～14：20、14：30～15：20）
2. 場所 第 2 LL 教室
3. 対象生徒 2・3 年選択者（9 名）
4. 単元名 “二年级一班在課堂上”（2 年 1 組の教室で）（第 24 課）

5. 単元目標

- ・授業中に使える表現を学び、普段の授業で使えるようにする。
- ・学校生活に関する言葉（部活動の名称）を中国語で知る。
- ・中国の学校生活について知り、体験する。“眼保健操”
- ・結果補語を用いて短文を作ることができる。

6. 教材観

『改訂新版高校中国語』（白帝社）の全 23 課を終えた後、第 24 課から自作の教材を用いている。生徒にとって身近な場面を設定し、会話形式での課文を作成している。第 24 課では、教室での場面で使える表現を学び、これからの授業で使うことをねらっている。

7. 生徒観

略

8. 指導観

後期の中国語Ⅱでは、予習として辞書を引いて単語の意味を調べることを指導している。また、授業中にはタブレットで中国語を調べさせ、対話文作成をさせている。テキストの範囲を超えた中国語に触れさせることで、卒業後も自分で中国語を学び続けられるようにしている。パソコンでのピンイン入力も指導し、メールなどでつながりがもてるようにしたい。また、ペアワークやグループワークを多く取り入れ、外国語の運用能力だけでなく、協働する力も付けさせたい。

9. 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
・積極的にグループワークに参加し、発表しようとしている。	・授業中によく使う言葉を中国語で言うことができる。 ・自分のこと（趣味、通学方法、体調、週末の予定など）について、質問に答えることができる。	・授業中によく使う言葉を中国語で聞いて理解することができる。 ・自分のことについて何を問われているのか聞き取ることができる。	・結果補語の構造を理解している。 ・単語を聞き取り、正しく書くことができる。 ・中国の学校には“眼保健操”（目の体操）の時間があることを知り、体験する。

10. 単元の指導と評価の計画（全 2 回） 1 回……50 分×2 時限連続

時	学習内容	主な評価規準・【観点】
第 1 回	第 24 課の単語 第 24 課の本文の音読 第 24 課の本文の発表 本校の部活動の名称	・積極的にグループワークに参加している。【関心・意欲・態度】 ・動作を交えて、授業中によく使う会話ができる。【表現の能力】 ・部活動の名称を知る。【知識・理解】
第 2 回 本時	第 24 課の本文の復習 結果補語 “眼保健操”（目の体操） 口頭試験に向けての練習	・積極的にペアワークに参加している。【関心・意欲・態度】 ・自分のことについて質問に答えることができる。【理解の能力】【表現の能力】 ・結果補語の文構造を理解している。【知識・理解】

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・結果補語の文構造を理解する。
- ・自分のこと（趣味、通学方法、体調、週末の予定など）についての質問を聞き取り、答えることができる。

(2) 本時の評価規準

- ・結果補語の文構造を理解し、正しい文を作ることができる。
- ・自分のことについての質問に答えを用意し、ペアで練習を行っている。
- ・単語を聞き取り、正しい漢字・ピンインで書くことができる。

(3) 本時で扱う教材

自作プリント：単語小テスト用紙、声調練習表（食べ物）***資料1**、第24課「2年1組の教室で」、結果補語の作文用紙、“眼保健操”（目の体操）の解説プリント、口頭試験の課題“眼保健操”（目の体操）の動画

(4) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
授業前	・自分の振り返りシートを取り、座席番号のくじを引いて、席に着く。	・毎回、ペアを組む生徒を変えることで、生徒が誰とでも協働できるようにする。	
5分導入	・日直の（くじ引きで2番の席に着いた）生徒が“起立！”と号令をかける。 ・“老师好！”とあいさつをする。 ・名前を呼ばれたら、“到！”と返事し、自分の名前を繰り返す。 ・本時の流れの確認	・自分の名前が聞き取れていることを確認するために、2時間目はランダムに名前を呼ぶ。 ・ホワイトボードに中国語で項目を書いておく。	
20分 復習と ウォーミング・アップ	・単語小テスト（10分） ・声調練習（5分） ・本文の復習（5分） 音読 動きを付けて発表	・前課の単語リストの中から指定した12個のうち10問を出題する。（必要な単語を選び、数を減らすことで、覚えようとする意欲を高める。） ・自分たちで選んだ食べ物を、見て発音できるだけでなく、日本語から中国語に訳せるようにする。 ・台詞の多い先生役には“奨励卡”を2枚、生徒役にはそれぞれ1枚与える。	・単語を聞き取り、正しい漢字・ピンインで書けているか。（小テスト）
70分 展開	・結果補語（25分） 重点の説明を聞く。 練習Aの置き換え練習 結果補語のプリント まとめ ・練習Bの問題演習	・“完（wán）”“忘（wàng）”の聞き分けがきちんとできているか留意する。	・結果補語の文構造を理解している。（プリント確認・提出）（定期考査）
10分 休憩		・中国語のポップスを流しておく。	

つづき	<ul style="list-style-type: none"> “眼保健操” (20分) NCTの解説を聞く。 動画を見ながら、実際に目の体操をする。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 口頭試験に向けての準備 (25分) 問いの確認 質問する際の表現 自分の答えの記入 ペアでお互いに練習 全体で練習 	<ul style="list-style-type: none"> “……老师, ……用汉语怎么说?” “这个字怎么念?” などを用いて質問をさせたり、タブレットの翻訳サイトを用いて中国語の単語を調べさせたりして、自分の答えを書き、読めるようにする。 ペア練習をさせることで、授業外でもお互いに練習できるようにする。 前回合格していない課題も時間があれば問うことを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に答えを書き、ペア練習を行っているか (観察)
5分 ま と め	<ul style="list-style-type: none"> 次回授業内考査の確認 振り返りの記入 	<ul style="list-style-type: none"> 考査範囲の解答を配付する。 「今日できるようになったこと」を記入させることで、自信をつけさせ、次につながる意欲を高める。 	

*資料1 声調練習表

声调练习 (食物)

NO.3

	+1	+2	+3	+4	+轻
1+	x ī guā 西瓜	g ā l í 咖喱	suānnǎi 酸奶	l ā miàn 拉面	bāo z i 包子
2+	huángguā 黄瓜	níngméng 柠檬	píngguǒ 苹果	pángxiè 螃蟹	p ú tao 葡萄
3+	huǒguō 火锅	cǎoméi 草莓	shuǐ jiǎo 水饺	kǎoròu 烤肉	l í z i 李子
4+	shòu s ī 寿司	fàntuán 饭团	hànǎo 汉堡	d à dòu 大豆	l ì z i 栗子